

市庁舎の省エネ活動でカーボンオフセット通帳誕生

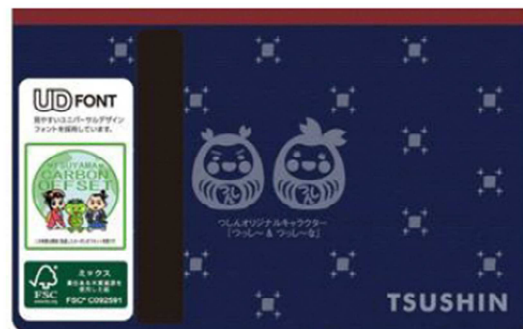
津山市は、平成 26 年度に、市庁舎の省エネルギータイプの空調機器の更新によって生まれた二酸化炭素排出権(国内クレジット制度)を活用し、協働によるカーボンオフセット通帳の取組を行いました。

省エネ活動によってクレジットを生んだ津山市と、排出削減事業共同実施者であり、津山市環境基本計画推進団体である N P O 法人エコネットワーク津山と、地球温暖化防止の取り組みに賛同した津山信用金庫の三者が、平成 26 年 5 月にパートナー協定を締結し、新通帳(3 種類 50,000 冊)作成時に排出される二酸化炭素 5 トン分のクレジットを津山信用金庫が購入し、オフセットしました。

通帳は津山の工芸品である作州緋(さくしゅうかすり)をイメージした図柄を基調に、カーボンオフセット事業を P R する専用ロゴマークが印刷されています。



カーボンオフセットロゴマーク



津山信用金庫新通帳